保健・医療の情報コーナー

すこやかライフ

成人保健課（〒564・0072出口町19・2保健センター内TEL6339・1212FAX6339・7075）
保健医療総務室（〒564・0072出口町19・3保健所内TEL6339・2225FAX6339・2058）
地域保健課（〒564・0072出口町19・3保健所内TEL6339・2227FAX6339・2058）
国民健康保険課（TEL050・1807・2183FAX6368・7347）
口腔ケアセンター（〒565・0862津雲台1・2・1TEL6155・8020FAX6873・3030）

保健所のホームページ　成人保健課のホームページ

各種健（検）診

加入している公的医療保険の種類に関係なく受診可。65歳以上は無料。64歳以下で吹田市国民健康保険の加入者は国民健康保険課へ、市民税非課税・生活保護世帯は検診の2週間前までに成人保健課へ申請すれば、いずれも無料。問成人保健課。
※受診の1年の区切りは、健診は4月～3月、検診は1月～12月です。

健診	30歳代健康診査	血圧測定、尿検査、血液検査など。30～39歳。	無料
	歯科健康診査	口腔内検査、歯面清掃など。 15～74歳（ただし、15～18歳は学校などで歯科健診を受ける機会がない人に限る。💻で事前申請が必要）。	
個別検診 ※1	胃がん検診 ※2	胃内視鏡検査 ※3。50歳以上で今年偶数年齢になる人。	2000円
	大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。	300円
	肺がん検診 ※4	X線検査。40歳以上。 問診の結果、必要な人のみ喀痰検査。50歳以上。別途500円。	400円
	子宮がん検診	頸部細胞診。20歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。 問診の結果、必要な人のみ体部細胞診。別途500円。	500円
	乳がん検診	マンモグラフィと視触診。40歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。	1000円
	前立腺がん検診	血液検査。50歳以上の男性。	700円
	結核検診 ※4	X線検査。65歳以上。	無料
	B・C型肝炎検診	血液検査。20歳以上で、B・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない人。	
	骨粗しょう症検診	骨量測定。20～70歳で年齢の下1桁目の数字が今年0か5になる人。	1000円
	聴力検診	6周波の聴力検査。今年50・55・60・65・70歳になる人。	500円

誕生月かその翌月の受診を推奨。所申直接、協力医療機関へ。
協力医療機関は、市報10月号と同時配布した「吹田市けんしんガイドブック」と成人保健課のホームページに掲載しています。

集団検診 ※1	胃がん検診 ※2	X線検査。50歳以上。1000円。 昨年胃内視鏡検査を受けていない人。	時1月19日㈮ 午前9時～11時40分。	誕生月に関わらず受診可。所保健センター。申1月5日㈮までに💻か、検診名、住所、名前、生年月日、電話番号を郵送かファックスで成人保健課へ。多数の場合は日程を振り替えることがあります。
	大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。300円。		
	肺がん検診 ※4	X線検査。40歳以上。400円。 喀痰検査は実施していません。 ※5		

※1　問診の状況により、市の検診として受診できない場合があります。
※2　個別検診か集団検診のどちらかを選んで受診してください。
※3　のど、鼻腔への局所麻酔以外の痛み止めや、鎮静薬は使用できません。また、抗血栓薬を服用している人は受診できません。
※4　65歳以上の人はいずれかを選んで受診してください。また、血痰のある人は検診の対象外です。速やかに医療機関を受診してください。
※5　50歳以上で、喫煙指数（1日の平均喫煙本数×喫煙継続年数）が600以上の人は、喀痰検査の対象となります。市内の協力医療機関で実施する肺がん検診を受診してください。

💻はこちら

▶市役所本庁舎の改修工事に伴い、駐車場の一部を閉鎖しています
混雑が予想されるため来庁の際は、できるだけ公共交通機関を利用してください

その他の検査・健診

HIV・性感染症検査
HIV、クラミジア、梅毒の検査ができます。匿名。診断書は発行しません。時月2回金曜日午前9時30分～11時45分。1人15分。結果説明は原則1週間後。所保健所。定各先着9人。申電話で地域保健課へ。

国保健康診査（特定健診）
身体測定、尿検査、血液検査など。対象者には、誕生月の前月末に受診票を送ります。今年4月2日以降の加入者は国民健康保険課へ問い合わせてください。特定健診の代わりに人間ドックを受診した人には受診費用の一部助成制度があります。詳しくは市ホームページへ。対40～74歳の吹田市国民健康保険加入者。国保以外の保険の加入者は、加入している健康保険の保険者へ問い合わせてください。問国民健康保険課。

人間ドック助成についてのページ

在宅要介護者・児訪問歯科健診
年1回、自宅で歯科健康診査を行います。対要介護者・児で通院ができない人。申電話かファックスで吹田市歯科医師会（TEL6389・6881FAX6389・3387）へ。問成人保健課。

相談

面談は予約制。時月～金曜日。祝・休日、年末年始は除く。

健康相談　健康、食事、禁煙、生活習慣病の予防など。所保健センター、同センター南千里分館。問成人保健課。

こころの健康相談　統合失調症や気分障がい、アルコールや薬物、ギャンブルなどの依存症、認知症、ひきこもりなど。所保健所。問地域保健課。

医療相談　医療機関に関する相談や苦情などに応じます。所保健所。問保健医療総務室。

くらしの情報

口腔ケアセンターの催し
障がい者（児）のお口のケアとリハビリテーション　歯科医師による口腔の健康度チェックと口腔ケア指導。時1月21日㈰午前10時～正午。対会場へ来所できる障がい者（児）。難病や脳梗塞後遺症がある人も可。定先着10人。申12月1日㈮から基本事項と年齢を電話かファックスで同センターへ。

ドクターメモ

スギ花粉症やダニアレルギーが増えています
アレルギー性鼻炎の最新治療

年が明けると、花粉症の時期が始まります。コロナ禍による外出自粛期間の終了と重なり、今年の花粉症の時期には大変多くの人が受診しました。また、住宅環境などの変化により、ダニアレルギーの子供が増えています。

これまで、アレルギー性鼻炎の治療として、主に薬物療法が行われてきました。しかし近年、スギ花粉症やダニアレルギーの根本治療として、舌下免疫療法を受ける人が増えています。3～4年と長期間の治療が必要ですが、特にスギ花粉症の場合は翌年に多くの人が効果を実感し、続けるモチベーションになっています。1日1回、舌下で薬を保持するだけなので、5～64歳の人であれば、誰でも取り組めます。

手術治療としては、レーザー治療があります。レーザーで鼻の粘膜を焼いて、鼻づまりなどの症状を軽くします。治療の有効期間が1～2年と言われていますが、何度でも治療を受けられ、薬物療法や舌下免疫療法と組み合わせることも可能です。

スギ花粉症の人は、従来の治療で効果不十分な場合は、抗IgE抗体製剤の治療を受けることもできます。ただし、年齢などの条件があるほか、定期的な皮下注射が必要で、行っている施設も限られます。

最近では、注射器を使わず、指先から少量の血液を採るだけで、41項目のアレルギー物質が検査できる機械が発売されました。食物アレルギーも調べられ、採血の苦手な人や小さな子供でも簡単に検査できます。まずは近くの耳鼻科を受診し、アレルギーの原因を調べたうえで、自身にとって最良の治療を受けるのが一番と考えます。

吹田市医師会　田口 大藏

¥費用　記載がないものは参加無料　申申し込み　基本事項は催し名、住所、名前（ふりがな）、電話番号を記入　記載がないものは当日直接会場へ
問問い合わせ　連連続で参加が必要　対対象　勤勤務　定定員　試試験　採採用　保保育　手手話通訳　は事前に問い合わせてください
✉メールアドレス　アドレスの記載がないものは裏表紙のQRコードか市ホームページに問い合わせ一覧があります
ダ用紙は市か施設のホームページからダウンロードできます　💻申し込みは市の電子申込システムへ。裏表紙のQRコードからアクセスできます